



No.535

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

October
2013
平成25年

10

茨

歯

会

報



Contents

デンタルアイ	1
征 矢 亘	
会務	3
理事会報告	7
会務日誌	8
学術委員会だより	11
医療管理委員会だより	12
センターだより	15
警察歯科協議会だより	16
社会保険委員会だより	18
専門学校だより	22
地区通信	24
歯科コラム	27
赤えんぴつ	29

表紙写真について

平成25年度「歯の衛生に関するポスター」
小学生の部 知事賞 池島 公太郎さんの作品

平均寿命から健康寿命へ



専務理事
征 矢 亘

森永丸もいよいよ第2週目の航海へと船出しました。前回の東日本大震災に続き、今回も公益法人取得という大波を超えてからの出航であり、毎回産みの苦しみを味わっております。おかげさまで、今期も引き続き専務理事を拝命させていただき、大変、身の引き締まる思いで公務を遂行させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

さて、今、歯科界は大きな転換期に立っていると思います。「生きる医療」から「生活の医療」への変換です。日歯会長の久保先生や、森永会長は平均寿命の延伸から健康寿命の延伸を目標に掲げました。1970年台、むし歯の洪水の時代であり、多くの国民にはたくさんのむし歯がありました。たしかにその時代、我々の医療は、「痛い」、「腫れた」、「噛めない」という緊急医療が主体でしたが、今後は生活を支える医療へとシフトしています。12歳児のDMFは最新のデータでは1.1本であり、ほとんどの小学生はノンカリエスの真っ白いとてもきれいな歯をしています。また、80歳以上の方の歯の残存数も年々増加しており、先日行いました、「8020高齢者よい歯のコンクール」の審査では、歯の本数が20本ではなんの表彰にも入らない状況です。30本かそれ以上の健康な歯を維持

し、なおかつとてもお元気な老人が増えてきています。（私はすでに残存歯28本です。）

茨城県において、残念なことです。平均寿命（2010年）は全国で男性36位 79.09歳、女性が43位 85.83歳でした。しかし、なんと健康寿命（2013年）は全国で第4位です。我々が直接お手伝いできる、「しっかりと口から食べることを通して健康寿命を延ばすこと」、「歯を失った方に対しては、入れ歯などでしっかり噛めるようにすること」、さらに要介護の状態になった方には、歯科医療を通して「自分の口から食べられる人生を送っていただくことでQOLを支えること」というこの分野が今後益々重要になり、仕事量も増えてくることでしょう。個人的には、PPK（ピンピンコロリ）生涯元気に過ごし、寝たきりにならず、みんなにとって幸せな人生を送ることを目標にしています。健康寿命を延ばすことが、一人一人の個人のみならず、家族や友人など周囲の人にとっても、かつ行政も医療費が減り、歯科医は仕事が増え三者がみんなで喜び、幸せを感じられることと確信しております。ぜひとも、茨城県を健康寿命全国1位にしたいものです。

さて、この健康寿命と歯科医療の関係ですが、口腔の健康は、全身の健康やADL（日常活

動能力)、QOLに大きく影響することが明らかにされています。(図)

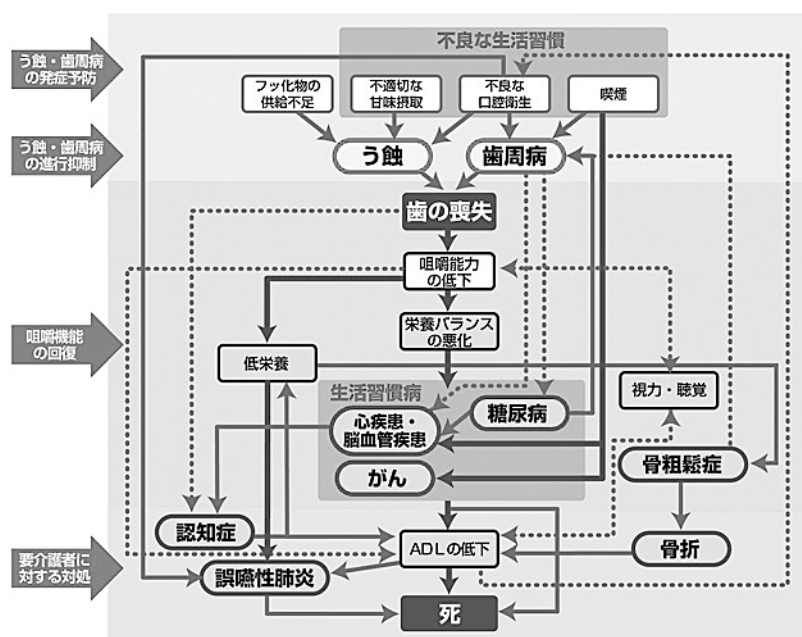
口腔の健康の向上が全身の健康に貢献するものとして、歯周病予防による循環器疾患や肝疾患、感染症、認知症への影響が確認されており、歯周病を予防・治療することは県民の健康な生活を確保する上で重要なことであります。

また、健康寿命延伸のためには、県民の健康への考えのスキルアップが必要であり、そのためには、個人々々への健康教育が重要になります。この部分を歯科医療が担い、実質的な歯科治療を行うと同時に患者さんへの健康教育が大きな仕事の一つとなると思います。また、この点が今後の歯科医師会における重大な使命でもあります。

これらの実現のためにもう一つ大事なこと

は、他(多)職種との連携です。すでに進行している、がん治療での周術期の口腔ケアを始め、見取りまでを目標とした在宅医療や、SAS(睡眠時無呼吸症候群)、ひいては広域防災協定など歯科医師会のみならず、医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、作業療法士会、ケアマネージャー協会、言語聴覚士会、理学療法士会、行政、並びに政治家、etc.多くの業界との連携を図ることも歯科医師会の仕事と捉えています。

健康寿命の延伸をキーワードに多方面での活動を茨城県歯科医師会は今後も遂行していきますので、皆様方のご支援、並びにご意見ご指導を切にお願いし、お互い協力し、素晴らしい未来を築いていきましょう。



口腔が健康状態に及ぼす影響と歯科保健医療 安藤雄一, 青山旬, 花田信弘
J. Natl. Inst. Public Health, 52 (1) : 2003

会務

平成25年度歯のポスター優秀作品決まる

平成25年度「歯の衛生に関するポスター」第2次審査会が9月19日（木）午後2時から茨歯会館において開催された。

今年は第1次審査に小学校653点、中学校173点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり決定した。

小 学 校 の 部



知事賞 池 島 公太郎
つくば市立前野小学校6年



教育長賞 古 谷 莉 子
つくばみらい市立豊小学校3年



歯科医師会長賞 齋 藤 兆
笠間市立岩間第一小学校3年

中 学 校 の 部



知事賞 天下井 裕 香
常陸太田市立水府中学校 1 年



教育長賞 渡 邊 あかり
結城市立結城南中学校 3 年



歯科医師会長賞 松 田 直 也
八千代町立東中学校 2 年

平成25年度歯と口の健康に関するポスターコンクール入賞者名簿

小学校の部

賞 名	氏 名	学年	学 校 名	保健所名
知 事 賞	池 島 公太郎	6年	つくば市立前野小学校	つ く ば
教 育 長 賞	古 谷 莉 子	3年	つくばみらい市立豊小学校	つ く ば
歯科医師会長賞	齋 藤 兆	3年	笠間市立岩間第一小学校	水 戸
優 秀 賞	渡 辺 陸 人	6年	笠間市立穴戸小学校	水 戸
	内 田 桃 音	3年	牛久市立中根小学校	竜 ケ 崎
	縄 凜太郎	3年	美浦村立木原小学校	土 浦
	杉 山 貴 哉	6年	筑西市立下館小学校	筑 西
	鈴 木 万美子	6年	古河市立古河第四小学校	古 河
佳 作	綿 引 愛 々	3年	水戸市立飯富小学校	水 戸
	尾 吹 風 香	6年	水戸市立笠原小学校	水 戸
	木 村 幸 心	3年	茨城県立大子特別支援学校	常 陸 大 宮
	新 堀 綾 子	6年	鉾田市立大和田小学校	鉾 田
	三代田 侑 季	6年	鉾田市立大和田小学校	鉾 田
	周 藤 楓	3年	取手市立六郷小学校	竜 ケ 崎
	磯 山 青 葉	3年	石岡市立杉並小学校	土 浦
	田 村 星 夏	3年	結城市立絹川小学校	筑 西
	小 林 泰 基	3年	筑西市立新治小学校	筑 西
	関 プレシユス	3年	境町立境小学校	古 河

中学校の部

賞 名	氏 名	学年	学 校 名	保健所名
知 事 賞	天下井 裕 香	1年	常陸太田市立水府中学校	常 陸 大 宮
教 育 長 賞	渡 邊 あかり	3年	結城市立結城南中学校	筑 西
歯科医師会長賞	松 田 直 也	2年	八千代町立東中学校	常 総
優 秀 賞	鈴 木 文 健	3年	那珂市立第一中学校	常 陸 大 宮
	田 村 優 奈	2年	鹿嶋市立大野中学校	潮 来
	舘 野 歩	3年	結城市立結城中学校	筑 西
佳 作	江 尻 歩 美	3年	常陸太田市立太田中学校	常 陸 大 宮
	金 坂 亜璃沙	2年	牛久市立牛久第一中学校	竜 ケ 崎
	平 林 真 依	2年	守谷市立けやき台中学校	竜 ケ 崎
	加 藤 愛 佳	2年	石岡市立石岡中学校	土 浦
	新 谷 夏 芽	2年	坂東市立猿島中学校	常 総

—— お詫びと訂正 ——

先月（9月号）の委員会紹介につきまして、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(3) 医療管理委員会

部 長	大 字 崇 弘	(県 南)
委 員 長	山 本 健	(珂 北)
副委員長	初 見 謙 介	(西 南)
〃	松 葉 俊 明	(県 南)
委 員	西 野 有 一	(日 立)
〃	鈴 木 慶 洋	(水 戸)
〃	奥 田 雅 人	(東西茨城)
〃	篠 塚 浩	(鹿 行)
〃	鶴 屋 誠 人	(土浦石岡)
〃	飯 塚 滋	(つ く ば)
〃	河 野 雅 人	(県 西)

(5) 総務委員会

部 長	村 居 幸 夫	(水 戸)
委 員 長	飯 野 守 康	(水 戸)
副委員長	麻 生 明 彦	(県 南)
委 員	立 原 正 仁	(日 立)
〃	小 泉 雄二郎	(珂 北)
〃	菊 地 長 生	(東西茨城)
〃	鈴 木 信 治	(鹿 行)
〃	幕 内 宏 則	(土浦石岡)
〃	横 張 雅 彦	(つ く ば)
〃	津 田 哲	(県 西)
〃	三 浦 雅 美	(西 南)



We try best!
For healthy and white teeth

本 社 水戸支店 宇都宮支店 松戸支店 野木支店	〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7 〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6 〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366 〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15	TEL 03-3832-8241 TEL 029-225-6543 TEL 028-613-5858 TEL 047-345-3131 TEL 0280-56-0567
---	--	---

株式会社 岩瀬歯科商会

千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所

理事会報告



第7回理事会

日時 平成25年9月19日（木）午後4時

場所 茨城県歯科医師会館 役員室

1. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 退会について

(3) 後援等許可について

「いい歯の日の催し」11月10日開催 取手市
歯科医師会 取手市歯科医師会

「ひたちなか市民健康講座」12月8日開催
ひたちなか歯科医師会

「第63回茨城県社会福祉大会」10月31日
茨城県社会福祉協議会

(4) 9月開業予定の歯科医院について

(5) 「平成25年度 歯の健康力推進歯科医師等
養成講習会」について

(6) 疾病共済金の支払いについて

(7) 週休2日制に伴う職員規定の変更について
現在1日7時間労働を、11月から8:30か
ら17:30の1日8時間、週休2日制にする。
土曜日也会館は開ける。

(7) 各委員会報告について

学術委員会、厚生委員会、医療管理委員
会、学校歯科委員会、社保委員会、専門学
校、口腔センター

2. 協議事項

(1) 入会申込書の受理について

上山 智史氏（茨城・県西）の入会を受理
した。

(2) 共催依頼について

①国民皆保険制度を考える県民集会（茨城県
保険医協会）

標記共催依頼について今回は見送ることと
した。

②地域包括ケア講習会（茨城・県西歯科医師会）

標記共催依頼について承認した。

(3) 歯・口の健康啓発標語コンクールについて
応募のあった標語1件について、日本学校
歯科医会に提出することとした。

(4) 関東地区歯科医師会相互支援協定（案）に
ついて

茨城は賛同し千葉県に任せることとした。

(5) 叙勲、会員功労賞等の表彰について

叙勲は原則代議員会で表彰。その他表彰は
郵送とする。

(6) 歴代会長への顧問の委嘱について

協議の結果、継続審議とした。

(7) 平成26年度関東地区歯科医師会役員協議会
について

100周年に習いプロジェクトチームを作り、
対応する。実働は厚生委員会が中心となる。

(8) 関東地区歯科医師会役員協議会での女性歯
科医会の設置について

長谷部理事が担当となり、設置について調
査することとした。

(9) 保健福祉部との懇談会提出議題について

11月21日（木）午後4時30分～5時40分
午後6時懇親会

※提出議題について、10月17日（木）まで
にメールまたはファクスにて事務局までご提
出下さい。

(10) 総務委員会委員の変更について

標記について承認した。

会務日誌

- 9月18日 労働保険事務組合報奨金交付申請受付会が水戸労働基準監督署会議室にて行われた。
出席者 須能
- 9月18日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 4
- 9月19日 第5回地域保健委員会を開催。8020高齢者よい歯のコンクール審査、歯科保健賞、産業
歯科保健（酸蝕症）、出前教室申し込み、フッ化物アンケートについて協議を行った。
出席者 渡辺地域保健部長ほか7名
- 9月19日 8020高齢者よい歯のコンクール審査会にて、応募のあった132名の高齢者について審査を
実施。最優秀には日立市の大森竹男さんが選ばれた。
出席者 大和県保健所長会長ほか14名
- 9月19日 歯の衛生に関するポスターコンクール第2次審査会を開催。県内小・中学校から応募の
あった826点の中から第2次審査に残った小学校62点、中学校36点について審査を行った。
出席者 長谷部理事
- 9月19日 茨城県歯科保健賞審査選考委員会を開催。候補として申請のあった4団体に対し審査を
行った結果、「茨城県歯科衛生士会東西茨城支部」を選出した。
出席者 亀山県厚生総務課長ほか13名
- 9月19日 第6回広報委員会を開催。会報9月号の校正、会報10月号の編集、歯の健康フェスティバ
ル、「歯科コラム」について協議を行った。
出席者 菱沼広報部長ほか8名
- 9月19日 第7回理事会を開催。入会申込書の受理、共催依頼、歯・口の健康啓発標語コンクール、
関東地区歯科医師会相互支援協定（案）、叙勲・会員功労賞等の表彰、歴代会長への顧問の
委嘱、平成26年度関東地区歯科医師会役員協議会、関東地区歯科医師会役員協議会での女
性歯科医会の設置、保健福祉部との懇談会提出議題、総務委員会委員の変更について協議を
行った。
出席者 森永会長ほか16名
- 9月19日 第1回裁定委員会を開催。委員長に村上正氏、副委員長に小野寺宣夫氏を選出し、委員の
職務について協議を行った。
出席者 村上裁定委員長ほか10名
- 9月19日 本会と連盟の間で懇談会を開催。市条例制定の推進、今後の連盟の活動について協議を
行った。
出席者 森永会長ほか3名、高野連盟会長ほか4名
- 9月24日 県医師会警察医部会法医学研修講演会が県医師会にて開催。県医師会顧問の齋藤浩先生が

「死体検案現場での問題点」について、筑波大学法医学教授の本田克也先生が「検視と検死―何を見て何を調べるのか」についてそれぞれ講演された。

出席者 森永会長ほか5名

9月26日 第9回歯科助手講習会を開催。「社会保険の仕組み」、「歯科界の事情」、「産業廃棄物の処理」、「情報処理」について講義を行った後、閉講式が行われた。

受講者 64名

9月26日 四師会懇談会が県医師会にて行われ、四師会災害等連携協定の進捗状況、在宅医療の連携、茨城県献血フェスタ、睡眠時無呼吸症候群の連携、TPP、消費税の対応について協議・意見交換を行った。

出席者 森永会長ほか4名

9月26日 四師会災害等連携協定ワーキンググループ会議が県医師会にて行われ、四師会による災害時の医療救護活動に関する協定、今年度総合防災訓練の訓練内容について協議を行った。

出席者 森永会長ほか3名

9月26日 要保護児童対策地域協議会保健・医療部会が県庁舎にて開催され、「保健・医療部会運営要領」の一部改正ほかについて協議を行った。

出席者 小林常務

9月26日 第1回学校保健課題解決支援事業連絡協議会が県庁舎にて開催された。

出席者 長谷部理事

9月27日 社会保険指導者研修会が日本教育会館にて開催される。「最近の社会保険を取り巻く状況について」を堀日歯常務理事、田口厚労省歯科医療管理官がそれぞれ講演され、その後の研修では「先進医療等について」をテーマに講演が行われた。

出席者 榊常務ほか5名

9月27日 鹿嶋市まちづくり市民センターにて、心と体の健康づくりをテーマに20名の参加者に対し健口づくりキャンペーンの歯科講演を行った。

出席者 森永会長ほか1名

9月27日 日本補綴歯科学会東関東支部第一回理事会が東京都内にて開催され、平成26年度学会東関東支部総会・学術大会ほかについて協議を行った。

出席者 岡崎理事

9月28日 県警大震災警備訓練の一環として、本年度も多数死体取扱要領訓練が茨城県警察学校武道館にて実施され、本会よりの講師が口腔内所見採取について講演を行った。

出席者 小林警察歯科医ほか2名

9月28日 歯科専門学校にて第3回体験入学を実施。学校施設説明などを行い、歯科衛生士科に27名、歯科技工士科には4名の参加があった。

10月 1日 摂食嚥下研修会の2回目を開催し、「哺乳・離乳期の発達とその障害」について研修を行った。

受講者 102名

10月 2日 大子町と大子町歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護に関する協定を締結し、その調印

式が太子町役場にて行われた。

出席者 森永会長

- 10月 3日 第18回地区歯科医師会対抗親善ソフトボール大会が水戸市民グラウンドにて開催される。今回は東西茨城歯科医師会が主管であり、県内9チームが出場。優勝は茨城・県西歯科医師会「県西バスターズ」、準優勝は土浦石岡歯科医師会であった。

参加者 149名

- 10月 3日 関東信越国税局管内税務指導者協議会が新潟市「ホテルイタリア軒」にて開催される。第1部では管内各歯科医師会からの現況報告と、提出議題についての協議・意見交換が行われ、その後日歯税務・青色申告委員会委員長 中村勝文先生が「医療税制と医療に係る消費税」について、嘱託税理士 丸山定夫先生が「歯科医業経営の現状」について講演された。国税局担当官を交えての第2部では、国税局管内における税務の現況、税務諸問題と会員指導について協議が行われた。

出席者 大字常務ほか1名

- 10月 9日 内外情勢調査会10月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

- 10月10日 第5回地域保健委員会を開催。県民歯科保健大会、歯の健康フェスティバル、噛むかむレシピコンテスト要項、禁煙支援研修会、歯科医学会などについて協議を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか10名

アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

火災保険

所得補償保険

小規模企業共済制度

自動車保険

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826



日本歯科医師会 生涯研修セミナー(茨城会場)報告

学術委員会 齊藤 洋一

7月21日の平成25年度日歯生涯研修セミナーは、衆議院選挙当日でもあり、セミナーのあと選挙へ、と忙しい一日となった会員が多かったのではないのでしょうか。会場である茨城県歯科医師会館には、朝10時から大勢の先生方が集まりました。午前中は「歯周病の病態と治療の基礎」のタイトルで、慶応義塾大学医学部教授中川種昭先生に、午後は、「歯の保存の基本」という演題で、大阪でご開業の木ノ本喜史先生にご講演いただき、皆さん熱心に聴講されていらっしゃいました。

午前の部の中川種昭先生のご講演である「歯周病の病態と治療の基礎」では、歯周病治療の基本をおさえた講演内容でした。歯周病の原因、修飾因子を4つに分類し(加齢、細菌、宿主、力)それらが相互的に及ぼす影響により重篤度が増加することをわかりやすく解説されておりました。基本的な歯周病治療の流れから、歯周外科、各抗菌薬による歯周病治療の効果を、実際の臨床例をいくつか挙げられ解説していただきました。大学での研究成果と、28年の治療経験をもとにエビデンスと臨床経験を融合させた、わかりやすい丁寧な講演内容でした。歯周治療では、基本的な手技をマスターする事がとても重要であるということを強調されておりました。

午後の部の木ノ本喜史先生のご講演である「歯の保存の基本」では、歯内療法がうまくいかない根本の原因は、細菌による感染であるとし、その

細菌がどのようにして根管に侵入し、棲息するのか具体的に示されました。特にイスムス、フィンなどの形成不良部位や見落としがちな第4の根管を解剖学的に解説され、歯内療法を複雑にしている原因のひとつである根管の形態について、今一度考えるきっかけを提供されました。歯内療法の講習などでは、根管の拡大・形成や充填などについての手技が述べられることが多いのですが、抗菌薬の効果を期待できない根管の感染に対して、様々な角度から感染部位の除去を示され、これらを理解することにより、毎日の歯内療法の質は格段に向上すると締めくくられました。

その後の質疑応答では、時間いっぱいまで質問に答えていただきました。木ノ本喜史先生に対しては、抗菌療法についての質問が多く、丁寧に答えて下さいました。抗菌薬を補助的に活用することで良い効果が得られるが、抗菌薬のみではあり得ないということ。マクロライド系の抗菌薬は、食細胞のファゴソームへの取り込みにより、効果的に感染部位に遊走し、効果を発揮することなど答えていただきました。木ノ本喜史先生は、ダブルドライバー法での、効果的なメタルコアの撤去方法を教えていただきました。メタルコアの基底部に、タービンで頬舌側にきびずをいれ、そこにドライバーを差し込み、両側から反対方向に回すことで、簡単にメタルコアを除去する方法をビデオで解説していただきました。

次ページに、日歯から配布された抄録を掲載いたします。

医療+管理委員会 だより

平成25年度 日歯認定歯科助手講習会閉講式

医療管理委員会 鈴木 慶洋

平成25年度医療管理委員会の事業の一環として毎年行われている歯科助手講習会は、平成25年5月16日（木）の開講式に始まり同年9月26日（木）までのおよそ4ヶ月間9回にわたり開催された。9月26日最終講義終了後、16時より閉講式が茨歯会館3F講堂にて、受講生65名と医療管理委員の下、厳粛の雰囲気の中とり行われた。

閉講式にあたり、まず茨城県歯科医師会会長の森永和男先生の挨拶代読を大字崇弘医療管理部長がされ、「患者さんと一番多く顔を合わせる皆さんが歯科医院の顔であり、そこでの対応により歯科医院の印象が大きく変わります。ですから患者さんの立場に立ち、自信を持って、そして優しく接してください。」と述べられた。

続いて山本健委員長より「私の86歳になる母が、茨歯会の助手講習会を受け認定証を保管している。歴史ある講習会に参加したことを誇りに、それぞれの診療所で活躍されるよう頑張ってください。」との祝辞があった。

その後65名の受講生全員に晴れて認定証が手渡されると、皆、達成感と安堵感が複雑に入り混じる表情となり、これをもって全日程及び全過程を終了した。この4ヶ月にわたる講習を県下全域より集まった受講生は、毎回真剣に講義を受講し、また実習にも積極的に取り組むことにより、その結果、乙種第一歯科助手と認定された。

受講生らが各医院に戻り今回の内容が少しでも役立てられれば、私達医療管理委員にとってこの



上ない喜びである。

この講習会は日歯を主管とする事業だが、実際の企画・運営は県歯に任されており、医療管理委員をはじめ外部講師・技工士科と衛生士科の諸先生方の協力のもと、成し得たものである。

最後に講習会の終了にあたって、遠方よりお越しいただいた技工士科・衛生士科の先生方、煩雑な事務作業を担当していただいた茨歯会事務局の方々、そして快くスタッフを送り出してくださった各医院の先生方、皆様に感謝を申し上げて報告とさせていただきます。

歯科助手講習会に参加して

17番 宮川 わかな

私は歯科医院に一年勤めて、更にこの講習会で貴重な経験をさせていただきました。歯科助手の役割と診療の基本はもちろんのこと、興味があった矯正治療や口腔外科的処置についても、沢山の知識を得ることができました。

講習会に参加したからこそ見つけることのできた発見。それぞれの歯科医院によって器具の呼び名が違っていることや、使用している機材が異なることも。それぞれに利点があり、実際に自動練和機での印象採得や石こうなどを体験しました。学んだ中で、最も興味深かった二つのことについて書きたいと思います。

まず、歯冠修復についてです。歯冠修復とは、う蝕などで崩壊した歯の形をもとの形に治すことです。普段、私たちは印象を練り、先生が採得する……という流れで診療を行っています。そこで、石こうを技工所に提出してから修復物が出来上がるまでの過程を見たことはありませんでした。「あの白い石の模型から、どうやって金属を流し込んで歯を作っているんだろう。」と、疑問に思っていました。この講習会では、大きなスクリーン上で何枚もの写真をスライドし、技工物ができていく様子を見ることが出来ました。また、教科書やDVDも多く使用して下さい、とても丁寧で分かりやすかったです。補綴物はその他にも、技工士側から見た義歯製作の流れや、一本一本の人工歯に色をつけていく様子もとても面白く感じました。

次に、応急処置についてです。私たち歯科助手が唯一、直接患者さんに触れて助けられることができると感じたからです。患者さんが診療中にショックを起こし、応急処置が必要になった場合を想定して、真剣に取り組む事ができました。「もしも患者さんの具合が悪くなり、呼吸や意識がなくなってしまうたら……。」救急普及協会の講師の方のお話から始まりました。中でも重要な存在の一つ、AED。私たちの診療室にもAEDがあります。「これを使うのは難しいのかな?」「私でも装着することはできるのだろうか?」と思っていました。講師の方は、意識を確認するところから救急車が到着するまでの間、私たちにもできる事があると教えてくれました。それは人の命に関わることで、早急に対応しなければいけないことだと改めて学ぶことができました。実際にマネキンとAEDを使ったり、胸骨圧迫も「今日のことを忘れないぞ。」と、何度も繰り返し行いました。AEDによって助けられた多くの命が繋ぐバトンを、しっかりと受け取りました。今度は私から、一人でも多くの人へ繋げていきたいと思います。

最後に、この講習会に参加することで、自分の立場だけではなく、患者さんや歯科医師、歯科技工士の立場に立って考えることもできました。遅刻や欠席をしてしまう事もありましたが、多くの先生方のサポートのおかげで最後まで参加することができました。学んだことはこれからの診療に役立て、患者さんの笑顔溢れる歯科医院を作り上げていきたいと思っています。

歯科助手講習会に参加して

68番 清水 麻衣子

思い起こせば9ヵ月前、私は初めて歯科の分野へ足を踏み入れ、歯科医院にて歯科助手として勤めることとなりました。何もかもがゼロからのスタートであった私は、勤務先の院長をはじめ、先輩の衛生士のスタッフに一から教わってきました。そのような周りの人からのサポートのおかげで、日に日に歯科助手としての知識や技術の幅が広がっていきました。しかし、勤務先では助手は私ひとり、しかも助手の知り合いも居なかったため、私は日々業務をこなしつつも、漠然と、`歯科助手とは何なのか、その役割とは何なのか、そう思っていました。そんな中、院長のすすめもあり、今から4ヵ月前、つまり助手を始めて5ヵ月が経った頃、私は歯科助手講習会に参加することを決意しました。

そこには、さまざまな人との出会い、歯科に関する知識や技術を学ぶ場があり、実に有意義な時間を過ごすことができました。

まずは、歯科助手の役割を知ることから始まりました。それまでの私は、主に術者のアシスタント等の業務に力を入れていました。しかし、今回をきっかけとして、その周りの環境整備の重要性、そして医師と患者さんとの懸け橋という役割があることに気付き、目を向けるようになりました。勤務先では助手が私ひとりということもあり、今ではなるべく率先して取り組むよう、日々心掛けています。

また、歯科に関することをより専門的に広く深く学ぶことにもなりました。それまでの私は、診療の一つ一つの過程の意味をよく理解できていないところがありました。しかし、講習会を通して、口腔や歯、消毒や滅菌、X線、麻酔、技工物、義歯等といったそれらの意味、あるいは長所や短所まで掘り下げて知ることができたことにより、以前と比べて術者のアシスタントがスムーズに行えるようになったと実感しています。また技工士の方からお話を伺い、勤務先に技工士がいない私にとって、なかなか目にするものがない他職種の仕事を知る良い機会にもなりました。さらに、実践を通して初めてのことが多いなかで徐々に理解を深めていったのを覚えています。X線写真のインスタントと自動現像や救急処置は、いつかの場面で役に立てられたらと考えます。衛生士の方から教わった、器具操作のテクニック、口腔内撮影、歯口清掃、印象採得、石膏注入等は、実際勤務先においても、それぞれポイントを意識して行うよう日々心掛けています。

このように今回、歯科助手としての心得から知識や技術、他職種やその周りに至ることまでを、自分と同じ助手の仲間と交流を持ちながら、広く深く学べたことは、9ヵ月経った今、改めて自分自身が歯科助手として、人として成長できた貴重な体験であったと痛感するとともに、今後も活かしていこうと考えています。

水戸口腔センターでの学生臨床実習について

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

高橋 裕子、関口 浩、村居 幸夫
征矢 亘、森永 和男

当センターでは今年度も茨城歯科専門学校の衛生士科、技工士科による実習が行われています。

衛生士科は5月29日～7月17日までの間の5日間、3年生による相互実習が行われました。臨床実習を経験した上で既習の知識、技能を実践と結びつけながら業務の理解を深め、実践能力を養うための実習です。オリエンテーションから始まり問診、口腔診査、ブラッシング、プロービング、スケーリング、歯面研磨、保健指導について、学生3人が1組となり患者、術者、アシスタントに分かれ、互いに実践していききました。

来年の春には衛生士として活躍すべく、改めて自分を見直す良い経験になった様です。

2年生においては6月17日～2月2日までの間に1日と3日間の実習が入っています。1日の実習では臨床実習に出る前なので、学生達はとても緊張している様ですし、あっという間に終わってしまうようですが、3日間の実習の時はバキュームテクニックやライティングに悪戦苦闘しながらも、声かけや積極的に動き、色々吸収しようとする態度が見られます。

技工士科の学生も2年生による実習があります。半日の見学実習ですが、障害を持つ方々の口腔内での義歯や捕綴物の重要性を感じられる実習になると思います。

センターでは障害者歯科、小児

歯科、矯正歯科、口腔外科、麻酔科、摂食嚥下リハビリテーションの専門医が治療にあたっていますので、行動抑制下での治療や静脈内鎮静による治療、発達段階に適していない食べ方や加齢による機能低下を改善するための咀嚼、嚥下機能療法等、多岐にわたる治療を見学、実習できる施設です。短い時間ではありますが、学生にとって貴重な経験になると思います。

勤務する衛生士も患者さんの障害を熟知し、細心の注意を払って診療にあたる様心がけています。先輩衛生士の働く姿を見て、歯科衛生士という職業の素晴らしさを実感してもらえたら幸いです。

歯科衛生士や歯科技工士は、近年幅広い場で活躍しています。専門分野を追求する方も増えてきています。

生涯続けられる素晴らしい職業です。卒業し国家試験に合格し晴れて歯科衛生士、歯科技工士になられて、大いに活躍される事を願っています。





平成25年度 茨城県警察本部捜査第一課 多数死体取扱要領訓練

警察歯科医 大澤 賢裕

平成25年9月28日、茨城県警察学校武道館会場において、警察官を対象とした多数遺体取扱訓練が実施された。茨城県警察本部から茨城県歯科医師会への講師派遣要請により、歯科口腔内所見採取実地訓練に、小林克男、大澤賢裕、小林克紀が講師として派遣されたので報告いたします。

1. 警察官相互による口腔内所見採取実地訓練

1) 「デンタルチャート採取」「口腔内撮影」

警察官を身元不明遺体とし、警察官による口腔内所見採取を実施する。

グループに分け、それぞれの仮想遺体で警察官によりデンタルチャートを作成。

同時に、口腔内写真の撮影訓練実施。

その後、歯科医師の作成したデンタルチャートと比較検証。

* 歯科医師が、治療痕跡の資料、撮影方法については解説。

2) 「デンタルレントゲン撮影デモ」

2. 警察官が採取したデンタルチャートの評価

3. 教養 「口腔内所見採取について」

警察歯科医 小林克男

・警察歯科医運用の連絡方法並びに報告

・「新 デンタルチャート書式・鑑定書書式」

について

・大規模災害多数遺体ケース 近年の事例報告

筑波剖検センター長 早川秀幸先生

「東日本大震災の検視状況」

その他 第12回 警察歯科医会全国大会

ポスター発表 展示

「茨城県沿岸における東日本大震災津波被害者の口腔内所見採取活動」

「インプラント治療痕からの早期身元判明事例報告」

全体の訓練内容

1. 検視現場設営
2. 遺体搬送訓練
3. 受付訓練
4. 検視訓練
5. 口腔内所見採取訓練
6. 身元確認訓練
7. 引き渡し訓練
8. DNA教養

茨城県警察本部、各警察署担当者約100名規模での訓練が実施された。

訓練では、この日茨城県での最後の公務となる茨城県警察本部長 萩原徹警視監の視察を受けた。

今年度は、特に東日本大震災以降見直された身元確認における口腔内所見の有用性を強調し、警察官の作成した口腔内所見資料と歯科医師が作成した資料との比較を行い、その情報量の違いにつ

いて説明した。

また、茨城県歯科医師会への口腔内所見採取依頼方法、日本歯科医師会の新しい鑑定報告書について解説を行い、歯科医師会には、警察との組織連携において、口腔内所見採取依頼と口腔内所見による身元不明者の検索体制（茨城県歯科医師会における会員への身元確認要請、地区歯科医師会における身元確認体制、日本歯科医師会における

身元確認要請、各組織ホームページにおける身元確認要請資料掲載。FO netにおける身元確認資料掲載）が存在することをアピールした。

今後は、警察官による口腔内所見採取はせず、歯科医師会への依頼を速やかに決定し、口腔内所見採取実施をすることが、早期の身元確認に繋がる一助となることを強調して講演を終了した。



社会保険 委員会 だより

「平成25年度社会保険指導者研修会」報告

茨城県歯科医師会社会保険委員 黒澤 教昭

平成25年9月27日（金）11時より、東京都千代田区にある日本教育会館において、社会保険指導者研修会が開催されました。歯科医学・医術の進歩発表に対応し、社会保険診療内容の向上を図り、かつ、国民歯科医療の要請に応える目的で実施されました。

茨城県歯科医師会からは、竹上先生、榊先生、大野先生、荒野先生、酒井先生、松尾先生が出席されました。午前の部は、最近の社会保険を取り巻く状況について、午後の部は先進医療等について講演が行われました。

開会の辞は、日本歯科医師会理事 兜森正道氏より行われ、その後、厚生労働相保険局長 大倉敬之氏、日本歯科医師会会長 大久保満男氏より、これからの歯科医療の向上について、先進医療の向上の必要性また在宅医療における世界での日本の立場の重要性についての講演がなされました。

1. 開 会 11:00 日本歯科医師会理事
兜 森 正 道

2. 挨拶 11:05 厚生労働相保険局長
大 倉 敬 之
日本歯科医師会会長
大久保 満 男

3. 講 演 11:20 「最近の社会保険を取り
巻く状況について」

厚生労働相保険局歯科医療
管理官 田 口 円 裕
日本歯科医師会常務理事
堀 憲 郎

—昼食休憩（50分）—

4. 研 修 13:10 講 演 「先進医療について」

13:10～14:00

「医科における医療技術等の現状について」

厚生労働相保険局医療課 課長補佐
小 林 一 司

14:05～14:45

「歯科にみる先進医療の現状と課題」
先進医療会議 技術委員

赤 川 安 正

14:50～15:50

「新歯科医療機器・歯科医療技術
産業ビジョン」

—日本歯科医学会の役割—

日本歯科医学会 会長
住 友 雅 人

5. 閉 会 15:50 日本歯科医師会理事
山 口 武 之

最近の社会保険を取り巻く状況について厚生労働省保険局歯科医師管理官・田口円裕様から、特に医科における新技術、医療材料の評価区分、その申請から保険適用までの流れについてのお話を中心に、講演が行われました。

次に、日本歯科医師会常務理事 堀 憲郎様が、現在、歯科における新規医療技術、医療機器、材料の新規導入が極めて少なく、今後、どのようにすればその導入を増やしていけるかという内容を中心に講演されました。

昼食休憩をはさんで、午後からは厚生労働省保険局医療課課長補佐 小林一司様から「医科における医療技術等の現状について」の講演が行われました。医科において、どのように新技術が保険請求に導入されるかという道筋について詳細に説明されました。

次に「歯科にみる先進医療の現状と課題」の題目で、先進医療会議技術委員赤川安正様が、現在の歯科における新技術がどのように先進医療技術として認められたか、また今後どのようにすれば、先進医療技術を開発していけるかという議題を中心に講演されました。

最後に、「新歯科医療機器・歯科医療技術産業

ビジョン」の題目で、日本歯科医学会会長の住友雅人様が、これからの歯科での新規医療技術のエビデンス的なものを構築し、実際に新技術を社会に出す今後の活動を中心に講演されました。

立候補趣意書に加えて

住友 雅人 平成25年1月16日作成

1. 法人化を実現しかつ安定的な学会の運営を目指すために提案する
2. 学会は活発かつ効果的な情報交換の場として機能しているのか
3. 学会の進展のためには情報の共有化と公開が必要である
4. 日本歯科医学会会長は会員の信頼の上に立ち、社会に向けて活動する
5. 歯学教育が行政の言いなりになっているのではないか
6. 保健医療における日本歯科医学会の存在意義は大きい
7. 歯科界からノーベル賞受賞者を輩出しよう
8. 日本歯科医学会総会について大幅な見直しをしよう

平成26年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価・再評価に係る評価方法等について（案）

概 要

これまでの診療報酬改定では、新規医療技術の評価及び既存技術の再評価にあたり、学会等から提出された技術評価提案書を参考に、中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織の医療技術評価分科会において検討を進め、中央社会保険医療協議会総会へ報告を行ってきた。

平成26年度改定においても、学会等から新たな医療技術や再評価すべき既存技術について、有効性・安全性等を踏まえた技術評価提案書の提出を求め、それらを参考に、医療技術評価分科会において評価・検討を進めてはどうか。

その際、平成26年度改定では、従前と同様の評価を行うこととするが、対象技術の範囲の拡大や、新しい技術と相対的に古い技術を整理する観点等から様式の一部変更を行うこととしてはどうか。

【評価の方法】

関係学会提案

↓ 参考：前回改定時は985件（重複を含む）

医療技術評価分科会

【会議の事前作業】

・外部有識者の意見を踏まえ専門的観点から当該技術に関する評価案を作成する。

↓

【会議】

・医療技術評価分科会において、技術の概要と評価案を示し、分野横断的な幅広い観点から評価を実施する。

↓

中医協へ報告

【具体的内容】

1. 評価の対象技術

医療技術評価分科会における評価対象技術は、原則、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第2部 在宅医療から第13部病理診断、又は歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第2部 在宅医療から第14部 病理診断に該当する技術として評価されている又はされることが適当な医療技術とする。

ただし、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部 医学管理等及び歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部 医学管理等の中で、評価及び再評価するべきとエビデンスをもって提案できる技術も対象に加えることとする。

医学管理等の提案は、原則として、医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができるものに限る。

2. 医療技術評価提案書の提出

新たな医療技術や再評価が必要と考えられる医療技術について、有効性、安全性、技術的成熟度、倫理性・社会的妥当性、普及性、既存の技術と比較した効率性等に関して、根拠を含め記載した評価提案書の提出を学会等（*）に求める。

* 学会等とは、日本医学会分科会、内科系学会社会保険連合、外科系学会社会保険委員会連合又は日本歯科医学会分科会（認定分科会含む）の何れかに属する学会、日本薬学会、並びに看護系学会等社会保険連合とする。

提案書様式の変更点

前回の医療技術評価提案書の様式から、今回変更した主な点は以下の通りである。

- ①担当者氏名、連絡先等を提案書本体から分離し、表紙に移行
- ②提案した技術に関連して、減点や削除が可能な技術を記載する欄を設置
- ③【詳細版】に当該技術に使用する医薬品又は医療機器、体外診断薬について記載する欄を設置（体外診断薬を新たに追加）
- ④保険既収載技術用の【詳細版】を新たに設定

3. 実施スケジュール

学会等における評価提案書の作成、医療技術評価分科会での評価等に必要な時間を確保する観点から、下記のスケジュールで実施することとしてはどうか。

平成25年3月上旬 提案書配布

6月中旬 提出締め切り、重複・薬事法承認などの確認

8～10月 専門的観点を踏まえ、評価案を作成

10月以降 評価案をもとに医療技術評価分科会で評価

評価結果を中央社会保険医療協議会総会に報告

平成26年度診療報酬改定に向けたスケジュール

月／日	今後の流れ
3月18日（月）	厚生労働省より提案書等の書類を受理
3月21日（木）	次期診療報酬改定における医療技術評価提案書に係る説明会を開催
5月10日（金）	提案書の提出締切（学会事務局へ）
6月3日（月）16：30～	第1回歯科医療協議会
6月18日（火）16：30～	第2回歯科医療協議会
6月21日（金）	厚生労働省へ提案書を提出

電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の3名の専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
医療アドバイザー	大曾根正幸氏	保険請求や各種届出などに関する事
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



茨城県歯科医師会事務局

電話 029-253-2561
FAX 029-253-1075



【歯科衛生士科研修旅行】

平成25年9月11日（水）～13日（金）にかけて、歯科衛生士科3年生と田中教頭、小澤教務副部長、専任教員菱沼、庄司の4名引率のもと北海道（小樽、旭川方面）へ研修旅行に行っていました。

3日間とも天気到大変恵まれ、1日目は小樽を自由散策し、夜はロープウェーで藻岩山展望台へ上がり夜景を見てきました。景色には皆とても感動しましたが、日が落ちてからの寒暖の差が大きく、9月とはいえ北海道の自然の寒さを痛感しました。

2日目は、市場に赴いての朝食で海鮮丼をいただきました。うに、いくら、サーモンなど、新鮮でとてもおいしかったです。生ものが苦手な学生には、ホッケ定食に替えたのですが、その大きさに驚きました。



市場での朝食

その後、今回の旅行のメインとなる旭山動物園に向かいました。ここでは、たくさんの動物たち

に癒されたのと、北海道の雄大な景色に時間がゆっくり流れる感じでした。



旭山動物園にて

最終日は新千歳空港で、それぞれがお土産をじっくり吟味し、皆たくさん購入していました。

学生たちは旅客機に乗ることは初めてではないと思いますが、離着時には声をあげて喜び、いつもは感情を表に出さない学生のその様子が初々しく感じられました。また、学校生活では見ることのできない学生たちの一面を見ることができ、教務としとしても楽しく過ごすことができました。

学生たちにとっては、今回の旅行を機にクラスの絆が一層強くなったと思います。そして、卒業後も学生生活での大きな思い出の1ページになることと思います。

来年3月2日（日）に実施される歯科衛生士国家試験にむけて、これから猛勉強の毎日となりますが、全員合格に向けて頑張ってくださいと思います。

（文責 庄司）

【歯科技工士科研修旅行】

9月12日（木）・13日（金）の2日間、歯科技工士科2学年（13名）、引率（野口教務副部長及び専任教員大槻、川崎の3名）で研修旅行に行ってきました。学生の希望により、今回は那須方面への旅行となりました。

1日目は朝早くに出発し、那須ハイランドパークで終日楽しみました。



那須ハイランドパークにて

学生達はグループになって、1日いても回りきれないアトラクションの中から思い思いに選び、絶叫系のアトラクションに乗る人、また乗らない人もそれぞれ楽しんでいました。那須高原の大自然に囲まれたレジャーランドということもあり、景色も堪能しました。

2日目は、初めに那須サファリパークへ行きました。ここではライオン、トラをはじめ、ゾウ、

キリン等約700種類、700頭羽のアフリカ動物放し飼いの中を専用のバスで周遊しました。

その後、那須とりっくあーとびあへ行き、立体的に見える絵画や、中に入った人の大きさが違って見える部屋など、目の錯覚に驚いていました。

昼食は、那須街道沿いにあるダイニングレストランで黒毛和牛創作料理を食べ、最後に佐野プレミアムアウトレットにてショッピングを満喫し帰路となりました。



佐野プレミアムアウトレットにて

今回の研修旅行は両日とも天候に恵まれ、普段できないような経験や体験ができ、大変有意義な2日間を過ごすことができました。

今後は、目の前に控えた国家試験や就職に向けて気持ちを切り替えて頑張ってもらいたいと思います。

（文責 川崎）



西南歯科医師会紹介

(社)茨城西南歯科医師会会長 橋本 正一

「わあー、なんにもないなあー。」というのが、県北地区から来た友人が渡良瀬川の土手に立っての第一声でした。何も無いと言ったって東を向いてのJR古河駅方面には高層マンション群が望めるんです。ただ西はその広さでは全国有数の渡良瀬川河川敷が広がっていて、川を渡ればもう埼玉県、群馬県、栃木県であります。

① 西南地区概況

私どもの地区は水戸から見れば、まさに「辺境の地」茨城県の西の端に位置し、古河市・坂東市・境町・五霞町の二市二町よりなります。人口はそれぞれ14万、5万5千、2万5千、9千人とトータル約23万人の方が生活しております。

古河市の西には栃木県日光市・群馬県沼田市境を源とする渡良瀬川が穏やかに流れ、それが南下して古河市と埼玉県久喜市の北側で利根川（別名坂東太郎）に注ぎ、そして五霞町と千葉県野田市との境で江戸川とに分かれ、利根川は外房鉾子に、江戸川は千葉縣市川市で東京湾へと注いでおります。そんな中で、五霞町は古河・坂東・境とは利根川の言わば川向うで、感覚的には埼玉県の幸手市と隣接する位置にあり、かつて幸手市との合併の話があったほどです。古河市とは国道4号線のバイパスの新利根川橋をもってが唯一の交通手段でありますで、大規模災害発災時には埼玉県とのコンタクトの方が迅速に行われるかもしれません。

徳川家康公のご落胤ともいわれる土井大炊頭利勝公（大老秀忠公の守役）が居した古河城はもう



橋本正一会長

渡良瀬の川底に、さかのぼれば、かつては「許我」と表記され万葉集に当時の情景が二首詠まれているそんな古河市。東京大手町に首塚のある平将門公、その胴塚が残る坂東市の南は、もう千葉県野田市であります。

山といえば小学生時代に遠足で行った、卵焼きで知られる栃木県の太平山、同じく日光の男体山、そして茨城の名峰筑波山があります。観光地と言っても、とにかく地理的交通事情から私たちが勝手に「奥座敷」と言っている鬼怒川、那須、塩原、川治の温泉地、そして日光東照宮といずれも栃木県であります。

水戸までは北関東道を使っても約1時間45分、筑波まで車で1時間15分くらい、埼玉県のさいたま市が県道で約1時間、栃木県宇都宮市まで国道で約1時間、上野までがJR宇都宮線の普通電車で約1時間、そんな古河・坂東・境・五霞の西南地区であります。

② はじまり

永年にわたり茨歯会代議員会議長を務められた中川茂美先生を中心として西南歯科医会100年の歩みの編纂が進行中ですが、それによりますと、茨歯会設立前の明治42年（1909）にかつて専門学校講師を永く務められた小倉宏平先生、そして茨歯会保険部長をされ、また茨歯会報に薬理学について詳しく寄稿される小倉和男先生ご兄弟の御父上小倉正齊先生が古河町（元古河市）において開業されました。岩井町（現坂東市）には、元茨歯会学校歯科委員会委員の小林修先生の御祖父小林清先生が大正8年（1919）に歯科医院を開業され、また境町には大正5年（1926）に元茨歯会学術委員会委員の遠藤良平先生の御祖父遠藤徳右衛門先生が開業された、とあります。

③ 会員現況等

さて、平成22年12月より一般社団法人の認可を受けた茨城西南歯科医師会であります。現在会員数107名、残念ながら非会員の方もかなり多く、入れ替わりが激しくなかなか把握できないのですが、おおよそ17～18件あるでしょうか。

五霞町は特筆です。歯科診療所は2軒しかありません。2軒とも会員の先生ですが、そのうちのお一人は台湾からの先生で、お二人ともお住まいは埼玉県です。

○西南歯科医師会

会員総数107名

古河市71名 坂東市21名 境町12名

五霞町2名 その他 1名

年代別

80代8名 70代8名 60代21名

50代52名 40代12名 30代6名

男女比

88名：19名

④ 地区活動

茨歯会の組織編成に準じ、当地区でも5つの委員会が設置されています。年度初めにそれぞれ事業計画が提示されますが、学術・保険・厚生・広報、そして地域保健関係が活動の主流となります。

歯周病検診は当然各市町で実施されていますが、その方法をいわゆる茨歯会方式に改めるべく現在進行中です。平成2年には寝たきり老人訪問診療のモデル地区に古河市が指定され、行政とタイアップして実施されましたが、その後、ジリ貧となり平成12年に介護保険法が制定に至って、行政との連携というより個々の歯科医院ベースで訪問診療が実施されています。

学術講演会は県内外より講師の先生において願い、年2回ほど実施しております。また、1年に2回開催される保険研修会には、茨城県指導官・指導監査医の先生方、そして茨歯会保険部の先生方に遠路お越し願い、解説いただいております。

厚生事業としては、ゴルフ例会、旅行が活発に実施されています。

ゴルフ例会は、もう開催160回を超え、かつてはAクラス・Bクラスの2組が隔月にコンペ実施というほど盛況でしたが、近年は2ヶ月に一度の開催となりました。それでも本年9月5日に実施された茨歯会地区対抗ゴルフ大会において第3位と



第162回ゴルフコンペ（平成25年3月28日）



平成24年度研修旅行（平成24年6月6～7日）



平成25年度 第2回 社会保険研修会（平成25年9月28日）

健闘したことは隔世の感があります。ソフトボール大会はここ3度ほど不参加とさせていただいております。4面フェンス・外野席付きの公式ソフトボール場がある当地区としては、そして私個人としても参加したいところですが、人的事情により残念な思いをしており、県西マスターズの3連覇に地団駄を踏むばかりであります。

私も子供のころ参加したことがある支部（地区）旅行は支部統合等の後に毎年定期的の実施されており、今年は11月13・14日に新潟方面の研修・観光が決まっております。

⑤ 終わりに

新聞報道に魅力度全国最下位とありました。「そうなんだ。」ととるか、「そんな訳ない。」と思われるか。

私どもの地区は関東の真ん中、ほとんど平らなところ、「ちょっと温泉に」というわけにもいきません。気象も陰しくなく、先の震災でも停電は続いたものの建物へは中程度の影響で済みました。

書によると、茨城県民性は「怒りっぽい、忘れっぽい、飽きっぽい」の三っぽい。「郷土意識が低く、特に言葉に対するコンプレックスが強い。」と茨城県企画部が公式に記している、とあります。生まれが古河の私には、本当にそうなのかよくわかりません。

西南地区の会員の皆様は総じて温和で穏やかな方たちで、お願いすれば地区事業にも積極的に協力していただけます。小さな地区ではありますが、歴代の支部長・会長の先生方、そして先輩方のお蔭で、それなりにまとまった素晴らしい歯科医師会と思っております。

茨城新聞10月18日（金）掲載

歯科コラム Dental column

健やかで美しい笑顔を!

Vol. **14**

公益社団法人茨城県歯科医師会

広報委員会 飯島重樹



写真①

写真②

写真①は、ある中学生の□元の写真で、この乱れた歯並びでは、毎日一所懸命歯を磨いても汚れを落とすのは大変なことでしょう。汚れの蓄積からムシ歯や歯周病のリスクが高くなるのも心配です。

さらに、食べ物の噛みやすさ、につくり笑った時の□元、そして唇のラインはどうでしょうか？誰でも年齢を重ねていきますが、この中学生が乱れた歯並びで60歳を迎えた場合と、整った歯並びで60歳を迎えた場合とで、どちらが多くの歯を維持することができるのでしょうか。

東京歯科大学の茂木先生らの調査で、80歳で20以上の歯が残っているお年寄りを調べた結果、下顎前突（うけ口）、開咬（前歯が噛み合わない）は人もいませんでした。良い歯並びが歯の長持ちに大切な要件であることがわかります。

適した時期でしょうか。乳歯から永久歯への交換が始まる7歳くらいまでは一度チェックを受けたいものです。この時期に早期発見をすることで、症状によっては簡単に治せる場合もあります。

一方、成人でも重度の歯周病でない限り、多くの場合矯正治療は可能です。60代で矯正治療を始めた方から、『女性はいくつになっても綺麗になりたいのよ!』という言葉を聞いたこともあります。

一般的な矯正治療は2～3年ほどの期間を要しますが、通院は毎月1回程度で済み、また、現在使用されている矯正装置は改良が重ねられ、目立たず、治療中の痛みの少ない材料が開発されています。

写真②は同じ中学生の矯正治療後です。良い噛み合わせは食べ物を噛む効率が良くなるだけでなく、初対面の相手に好印象を与えます。素晴らしい笑顔はあなたにとって大きな魅力となります。

歯並びが気になる方は、ぜひ一度歯医者さんにご相談ください。

●次回掲載予定日は**12月18日**です。

公益社団法人 **茨城県歯科医師会**
Ibaraki Dental Association

<http://www.ibasikai.or.jp/>
茨城県歯科医師会 検索



ご意見、ご質問をメールにてお寄せください。
opinion@ibasikai.or.jp

歯科医院における「おもてなし」マインド

わたくしども葵経営グループは日頃より茨城県歯科医師会事務局様の人事労務管理運営のサポートを担当させていただいております。そのサービスの一環として、茨城県歯科医師会会員様からの人事・労務に関する電話相談を無料にてお受けしております。これまで概ね月に4～5件のご相談をお受けしております。

今回、最近私どもが人事労務の観点から経営者の皆様とお話をさせて頂く中で感じている、スタッフのお客様への「おもてなしの心」の伝え方の重要性についてお伝えします。

(次回以降、コミュニケーションスキルアップのヒントにつきましても配信予定)

【医療・福祉業界もサービス業】

最近、病院・クリニック等の医療業及び介護福祉施設からのサービス研修のご依頼を多くお受けしています。それは、消費者であるお客様の小売業・飲食業等の店舗やサービスに対する要求度や感度が向上していることが背景にあり、私たち医療や福祉に関する業界に向けられる目もおのずと上がってきていることへの危機感の表れかなと感じます。



大きな病院では患者さんを「〇〇様」とお呼びし、立膝をつき目線を合わせて会話する光景をよく目にします。これら形を通して伝えていくことは大切ですが、先日の東京オリンピックのプレゼンではありませんが、「おもてなしの心」をスタッフ一同が共有し、自然にふるまえ居心地のいい空間を作れているかがもっと重要だと思いますね。



【第一印象の重要性】

皆さん第一印象はどの位の時間で決まると思いますか？これは一瞬から15秒で決まると言われています。要素としては、身体（態度・行動など）55%、声の調子38%、言葉7%（メラビアンの法則）と言われており、言葉を発する以前のいわゆる「非言語」の占める割合がこんなに大きいということです。

第一印象は、初めて来院されたという場合はもちろん、何度も来ている方でもその日クリニックに足を踏み入れたその時の印象ということでもあります。

【コミュニケーションスキルを磨きましょう】

院長先生の思いや運営方針がスタッフ全員に共有されるよう何か取り組まれているのでしょうか？また、私たちもサービス業という視点からのコミュニケーションスキルアップのための研修などにお時間を少しでもさいておられるのでしょうか？

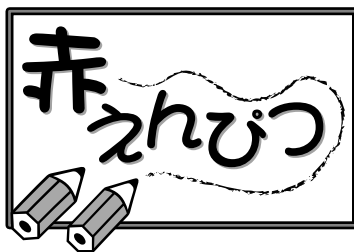
コミュニケーションは、「非言語」「言語（言葉の伝え方）」という側面から取り組む必要があります。当法人ではこうした教育研修の企画・運営のお手伝いをさせていただいています。まずは一度点検をしてみてもいいでしょうか？

【葵経営グループ】

社会保険労務士法人葵経営 特定社会保険労務士 皆川雅彦

TEL 0294-25-3668

- | | | |
|---|--|-------------------------------------|
| ☐ 各種保険手続き | ☐ 就業規則等の整備 | ☐ 個別労働紛争への対応 |
| ☐ 助成金受給診断及び申請代行 | ☐ メンタルヘルスケアへの対応 | |
| ☐ 人材育成事業（教育訓練計画策定支援、研修事業の企画実施） | | |



7月7日七夕、我が家に新しい家族、♀のワンちゃんが来ました。昨年末、実家の外で飼っていた早犬が亡くなり、大好きだった長男はまた犬が飼いたいとずっと言っていました。ただ私とかみさんも今まで、家の中で犬を飼うなんて考えもしませんでした。それがペットショップを見に行っているうちに犬が可愛くなり、たまたま見に行った時のトイプードルがあまりにも可愛くて、「今でしょ!？」的に、今買わないと次に来たとき居ないかも・・・と、衝動買いをしてしまいました。前



新しい家族



ペットショップにて

に実家で飼っていたのが、メロンパンナちゃん→『パンナ』と子供が名づけたことから、今回も食べ物にちなんだ名前を私がいくつか候補に挙げ、たまたま食事をしに行っていたところのメニューの杏仁豆腐という字を見て、かみさんが改めて、「可愛いかも・・・」、「なかなか居ないよ」ということで、『杏仁』（杏仁の“実”は茶色いし）と名付けました。うち

私には娘、三男には妹もしくは子分のような存在で、今では一番好きな子と言ってもいいくらい、可愛くて仕方ありません。三男は本当に可愛がっていて、いつも自分のベッドに連れて行って、気が付くと一緒に寝ています（たまに布団にお

しっこをされて、かみさんに怒られますが・・・笑）。また、散歩に連れていけないと「可哀そうじゃん!」と不機嫌になったり、サークルの掃除やご飯の世話を率先して行い、意外な一面を毎日見ております。こんなにも可愛いがるのならもっと早く飼ってあげればよかったのかな。来た当初は700g弱だったのが、今では2kg程とスクスク成長しており、うちの大事な長女です。ちなみにかみさんは、すでにもう一匹考えていて、黒プーちゃん



私の待ち受け画面（照）

（あまロス症候群中のコバ）

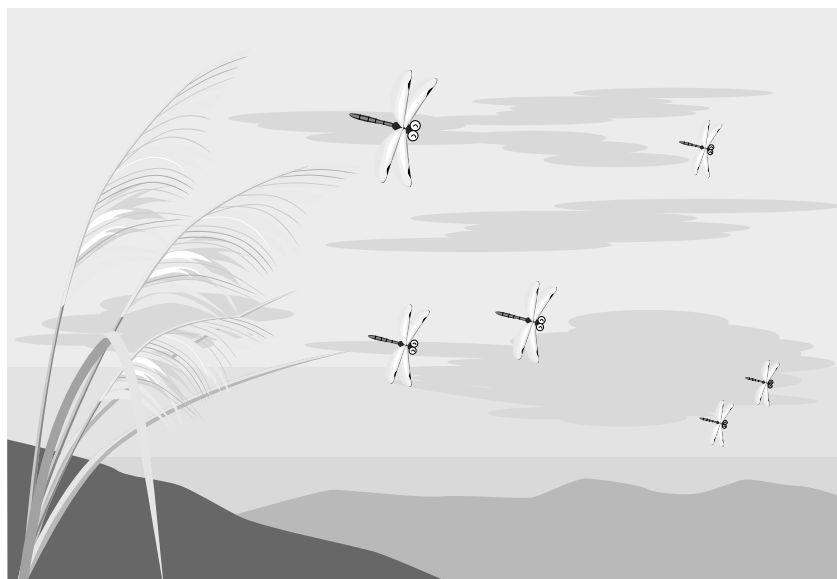
先日、高校時代の部活の顧問の先生が、OB会長に就任されるということということで、祝う会が催され参加した。お世話になった世代が集まったの

だが、卒後初めて会う人達がほとんどで、この人誰？が半分、なぜかあまり変わっていない人が半分。周りの反応では、私はどちらかというと後者のようで、初めは喜んでいたが、良く考えれば昔からくたびれていたということか？土曜日の診療終了後に参加し、1泊ということで年がいもなく明け方まで羽目を外してしまったが、それでも朝食には皆揃っている。昔、厳しい練習に耐えてきた仲間なので、先生の前では年がいもなくしゃきっとするものなのか？

そしてつい最近、今度は子供の用事で大学に行く機会があった。父母懇親会に参加したが、こちらも見ただことのある顔が多く、さながらプチ同窓会の様相。少し上の先輩方が多かったが、同級生を見つけては昔を懐かしんだ。当時はさほど親しくなかった間柄でも、こういう場ではなぜか会話がはずむ。不思議なものだ。

さて、この短期間で立て続けに20年以上も会っていなかった人達に逢うとは。自分の身に何か起こらなければいいが。それはさておき現実を目を向けると、やらねばならない事が山積みである。ひと時の現実逃避に感謝をし、またあくせくと働いている毎日である。

(仁)



昔の資料を見てみると、2003年8月号の編集後記でここにデビューして以来、10年が経ちました。その当時はFAXが主流で、パソコンの前に座ることなどほとんどなく、手書きの原稿を見比べながら会報の校正をしていたものでした。ほとんど写真など撮ったことがない自分が、表紙写真はどうか、季節感はあるのか、季節感がないものはどう使うかなどを考え、カメラ片手にうろつきだすようになっていきました。

時代が変遷し、いまや原稿はメールで送られ、校正もPDFでなおすようになっていきます（自分はまだPDFを直接校正することはできず、修正してスキャンして送ったりしていますが）。写真にしてもへたなデジカメよりもスマホの方が解像度が高く綺麗に撮れてしまいます。ふと、今の時代についていくのが苦痛に思えてくることありますが、なんとか頑張っていかなければ、、、

(楠美)

先日、第33回全日本歯科医師テニス大会神奈川大会に茨城県の代表として（？もちろん予選なし、家族に説明する都合上・・・）出場した。23年前

の茨城大会から参加し、今回で18回目の参加となる。20年前の愛媛県松山大会では、大会前日に道後温泉の隣のテニスコートでの気合いのこもった練習中、普段の不摂生がたたったのか突然に重症のぎっくり腰に襲われ、車イスで強制送還となった苦い思い出がある。それ以来腰痛とはすっかり仲良くなり、ここ数年は、座骨神経痛に悩まされている。さて、戦績は一緒に参加した茨城の先生方は好成績であった。我がペアは善戦した

が結果は全敗。そろそろ潮時かとおもいながら70才以上の部に出場している先輩の先生方を観戦しているうちにメラメラと（?かすかに）やる気に火がついた。（いや、ついた気がしたような・・・）とにかく、リハビリのつもりでテニス仲間には迷惑をかけながら続けたいと思う。次は倍返しだ。

早朝散策した平山城の小田原城は素晴らしかった。富士山をバックに快晴のテニスコート、そこに集う中年、初老のスポーツマンもさわやかであった。まさに青春（!?）スポーツの秋の一日でした。

(T,N)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また支部や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail koho@ibasikai.or.jp

広報委員会

A black and white photograph of three students in school uniforms standing outdoors. From left to right: a male student with glasses wearing a dark blazer and tie; a male student with glasses wearing a dark blazer and tie; and a female student with dark hair wearing a dark blazer and a patterned scarf. All three are smiling and have their hands clasped in front of them. They are standing in front of a background of trees and foliage.



本校卒業生



中学校160名・高校40名(新規)

創立以来の輝かしい合格実績

医学部			歯学部		
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2
北海道大学	2	自治医科大学	2	九州大学	2
東北大学	5	産業医科大学	2	東京医科歯科大学	5
名古屋大学	2	日本医科大学	36	新潟大学	2
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	岡山大学	1
九州大学	1	順天堂大学	50	広島大学	2
東京医科歯科大学	1	昭和大学	59	徳島大学	1
千葉大学	6	日本大学	71	長崎大学	2
筑波大学	2	東京医科大学	52	鹿児島大学	2
群馬大学	5	東邦大学	80	九州齒科大学	4
新潟大学	6	東京女子医科大学	13	東京齒科大学	66
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	129	日本大学・歯、松戸歯	137
上記以外、国公立 18 大学 65 名、私立 17 大学 761 名			日本歯科大学・生命歯、新潟歯		

※数字は1982年～2013年度の延べ人数。当年度の入学定員を超過する場合は、その超過分のみが入学したと見做す。

※数字は1982年～2013年度の延べ人数 ※順不同

学校・寮の見学は随時受付します。 入試室までお問合せください。

全人英才教育

秀明中学・高等学校

検索

みんなの写真館

Photo
Gallery

平成25年度歯と口の健康に関するポスターコンクール 優秀賞作品

中学生の部



鈴木文健



田村優奈



館野歩

小学生の部



渡辺陸人



縄凛太郎



鈴木万美子



内田桃音



杉山貴哉

会員数

平成25年9月30日現在

支部	会員数(前月比)
日立	121
珂北	144
水戸	155
東西茨城	73
鹿行	102
土浦石岡	174
つくば	115
県南	179 -1
県西	155 +1
西	107
計	1,325 ±0

みんなの写真館写真募集!!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,137名
2種会員 42名
終身会員 146名
合計 1,325名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 25 年 10 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘

編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。